

2022年12月1日
株式会社アドバンスト・メディア

LIXIL のオンラインショールームに、 AI 音声認識文字起こし支援アプリ「AmiVoice® ScribeAssist」を導入 聴覚障がい者のコミュニケーションバリアフリー化を促進

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）の AI 音声認識 AmiVoice を活用した文字起こし支援アプリケーション「AmiVoice ScribeAssist（アミボイス スクライブアシスト）」が、株式会社 LIXIL（本社：東京都品川区、以下 LIXIL）のオンラインショールームの接客サービスに 12 月より導入されます。

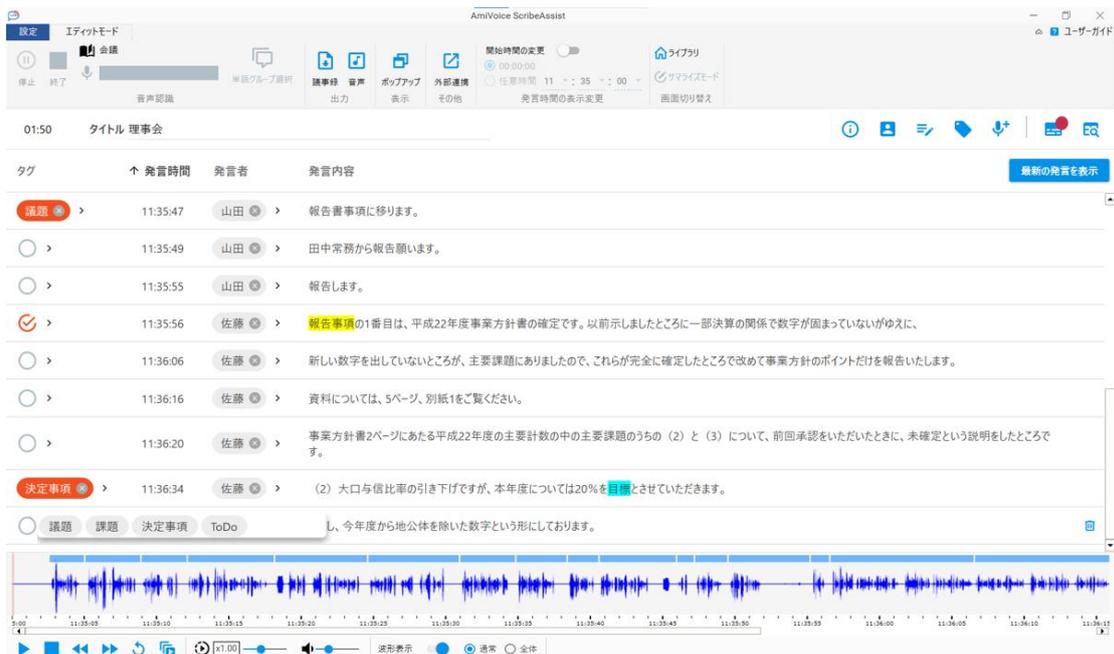
日本全国で聴覚などに障がいを抱えている方は、約 34 万人いると推定されています^{*1}。さらに、2021 年 5 月には「改正障害者差別解消法^{*2}」が参議院本会議で可決され、これまで国や自治体のみに義務付けられていた合理的配慮が、民間事業者にも求められるようになりました。これにより、商品やサービスを利用する障がい者に対して、国や自治体のように配慮提供が義務化されることとなります。

この度、「AmiVoice ScribeAssist」の導入により、ショールームコーディネーターの話した内容を Zoom の画面下段に文字表示する新サービスの提供が可能になります。聴覚障がい者や加齢性難聴者など、耳が不自由な方、さらには日本語を使う外国人の方への日本語理解の補助などにも活用でき、快適なオンライン接客を実現します。

LIXIL では、「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」というパーパス（存在意義）の元、コーポレート・レスポンシビリティミッションのひとつに「多様性の尊重」を掲げ、年齢、性別、障がいの有無などを問わず、すべての人びとの生活の質の向上に貢献するユニバーサルデザイン（UD）に基づく商品やサービスの提供に取り組んでいます。そこで、LIXIL のオンラインショールームで UD に基づいたサービスの提供を実現するため、20 年以上の実績を持つ AI 音声認識 AmiVoice を搭載した文字起こし支援アプリケーション「AmiVoice ScribeAssist」の導入が決定しました。

アドバンスト・メディアでは、聴覚障がい者や難聴者のバリアフリーなコミュニケーションの実現を目指し、今後も AI 音声認識 AmiVoice を活用したサービスの提供を進めてまいります。

【AmiVoice ScribeAssist 概要】



「AmiVoice ScribeAssist」は、国内市場シェア No.1^{※3}のAI音声認識AmiVoiceを搭載し、オンライン/オフラインといった会議形態、WEB会議システムの種類を問わず使用できる、スタンドアロン型の文字起こし支援アプリケーションです。リアルタイム認識・バッチ認識に対応しており、会議音声の録音、音声認識、テキストの編集、文字起こし内容の出力までをワンストップで行えます。AI話者識別機能やキーワード・タグ付け機能、リアルタイム字幕表示機能など、会議での運用に適した機能を多数搭載しています。

<https://www.advanced-media.co.jp/lp/scribeassist/>

【LIXIL オンラインショールーム 概要】



LIXIL オンラインショールームには、予約ありの「予約してオンライン相談」と予約なしの「今すぐ相談」があり、「予約してオンライン相談」は、1 回約 60 分間、オンライン予約専用サイトから、相談したい商品項目、希望の日時を選択いただければ、LIXIL からご相談内容の確認や接続方法と URL などをメールにてお知らせします。無料で何度でもご利用いただけます。

LIXIL オンラインショールームは、コロナ禍におけるソリューションとしていち早く全国で展開し、サービス開始より利用件数も高い伸びが続き、累計 120,000 組以上（2022 年 10 月末時点）のお客さまにご利用いただいています。

また、お客さまアンケートなどを通じて、オンライン相談の時間・地理的制約がない点が、ユーザーメリットとして、ご認識いただけていることが確認できています。たとえば同じ 60 分間の接客でも、館内での対面接客と比べてオンライン接客のほうが満足度が高いという結果（満足度 93 %）が得られており、LIXIL は、コロナの有無に関わらず、対面とオンラインの利点を組み合わせたハイブリッド型のサービスを提案しています。

LIXIL オンラインショールームご予約サイト：<https://srentry.lixil.co.jp/online>

※ 1 厚労省「平成 28 年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）より

https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/seikatsu_chousa_b_h28.html

※ 2 障害を理由とする差別の解消の推進のため内閣府が 2016 年 4 月に施行し、2021 年 5 月に改正。

<https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html>

※ 3 出典：ecarlte「音声認識市場動向 2022」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997 年 12 月

資 本 金： 69 億 3,031 万円（18,392,724 株）（2022 年 6 月末現在）

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国)と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専業の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：ecarlte「音声認識市場動向 2022」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail： press@advanced-media.co.jp ・ TEL：03-5958-1307	VoXT（ボクスト）事業部 ・ E-mail： voxt-info@advanced-media.co.jp